

## マーケットの動き（2022年8月29日～9月2日）

先週の国内債券市場は、前週末比で金利は上昇しました（債券価格は下落）。前週末のFRB（米国連邦準備制度理事会）パウエル議長の講演を受けた海外金利の上昇や円安の進行を受けて、国内長期金利は週初より上昇しました。日銀の指し値オペが国内長期金利の上昇を抑制しましたが、FRB高官による金融引き締めに向けた前向きな発言が相次いだことや、週末に米国雇用統計の発表を控えたリスクオフの動きが広がったことで、金利は上昇して週を終えました。

## 投資環境見通し（2022年9月）

## 国内長期金利は上昇圧力がかかりやすい

日銀は現行の緩和的な金融政策を当面継続するとみられますが、国内物価の基調が着実に高まっていることに加え、底堅い経済活動を背景に、国内長期金利は上昇圧力がかかりやすい状況が続くとみています。

|                         | 9月2日   | 変動幅（騰落率） |        |        |        |
|-------------------------|--------|----------|--------|--------|--------|
|                         |        | 前週比      | 1カ月前比  | 6カ月前比  | 1年前比   |
| 10年国債利回り（日本、%）<br>（変動幅） | 0.24   | 0.02     | 0.07   | 0.10   | 0.21   |
| NOMURA-BPI総合<br>（騰落率）   | 376.36 | ▲0.44%   | ▲0.67% | ▲1.84% | ▲3.11% |

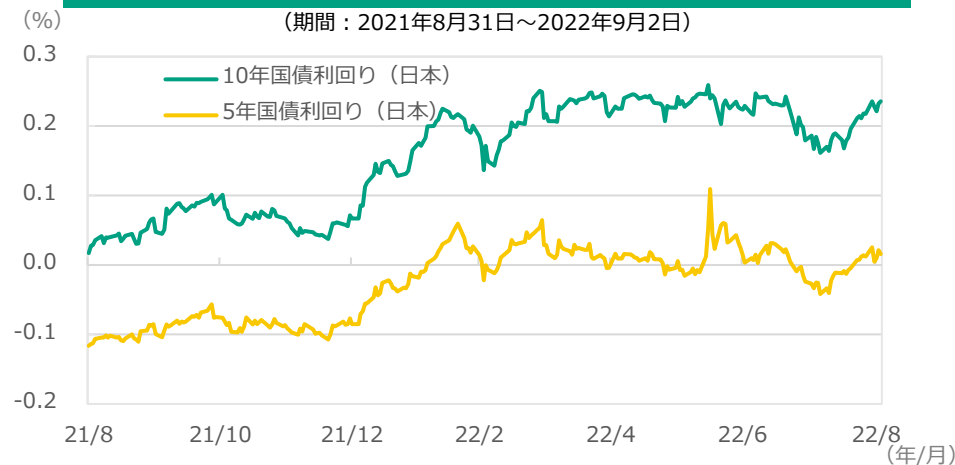
※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日（休日の場合は前営業日）までとします。

※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

[https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload\\_pdf/202209\\_outlook.pdf](https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202209_outlook.pdf)

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客様の投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客様自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>

## 日本国債利回りの推移



## NOMURA-BPI総合指数の推移



※2021年8月31日の値を100として指数化

※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成